

まち・ひと・しごと創生寄附活用事業名 「山形県まち・ひと・しごと創生推進計画」
寄附を頂いた企業：株式会社CPC様



『やまがた景観物語』おすすめビューポイントとは

山形県には、ほかでは見る事の出来ない美しい景観が数多くあります。その中からぜひ一度は足を運んでいただきたいおすすめ場所として「『やまがた景観物語』おすすめビューポイント」を選定し、様々な企画を通して、地域の活性化や交流人口の拡大に取り組んでおり、これまでに県内外から、年間1万人を超える方々（QRコード読み取り数より）がビューポイントを訪れています。

ビューポイントには現地案内標識が設置され、QRコードにスマートフォンをかざすと、その土地や景観にまつわる歴史や物語、周辺の観光情報などを知ることができます。

令和2年度 やまがた景観物語 写真コンテスト

- ・ビューポイントの魅力を多くの人にお伝えするため県では、平成28年度より写真コンテストを実施しています。
- ・5回目となった今年も四季折々の景観の素晴らしさを見事にとらえた力作が数多く寄せられました。
- ・2月18日に審査会を実施し、24作品が入選となりました。（うち5作品は県外からの応募）
- ・入選作品は、ホームページ、SNS、移動展示会等、ビューポイントの広報に活用させていただきます。

【令和2年度写真コンテスト概要】

- ・募集期間 令和2年7月1日～令和3年1月31日
- ・入賞基準
A賞：令和元年度に追加選定したビューポイント、これまで入選作品がないビューポイントから撮影した作品
B賞：A賞該当のビューポイント以外から撮影した作品
- ・応募作品数 95点（うち16点は県外からの応募）
- ・審査委員（敬称略）
山形県写真連盟会長 阿部 直美、東北芸術工科大学教授 山畑 信博、Harvest フォトグラファー 本間 聡美
- ・入選者には山形県内「道の駅」の特産品 A賞（5,000円相当）
B賞（2,500円相当）を贈呈しました。

イベントのPR、広報活動等

- ・チラシの設置・配布 県総合支庁、市町村の役所、道の駅、高速道路SA、PAなどに約3,000部、県内ローソン113店舗に計3,390部の設置。第一生命保険会社顧客等への2,000部の配布。
- ・県公式twitter、県広報番組での紹介、県庁だよりへの掲載。
- ・山形新聞(R2.7.20) 河北新報(R2.7.21) での紹介。

「山形県まち・ひと・しごと創生推進計画」内での「やまがた景観物語」の位置付け

「山形県まち・ひと・しごと創生推進計画」は企業版ふるさと納税に係る認定地域再生計画（令和元年度第4回）にて認定されています。『やまがた景観物語』の取組みは計画内の「地域の豊かな自然と地球の環境を守る持続可能な地域づくり」取組みみとなり「未来に向けた発展基盤となる県土の整備・活用」「環境学習・環境保全活動への参加数の増加」を目標としています。



『やまがた景観物語』おすすめビューポイント60からの景観の魅力を撮影した作品を募集します。

過去に撮影した写真でも応募可能ですので、「またあの景色を見に行きたい」という思い出の写真がございましたら、是非ご応募ください。

募集期間：令和2年7月1日（水）～令和3年1月31日（日）（当日消印有効）

◇ 詳しい応募方法は裏面をご覧ください ◇



主催：山形県 協賛：山形「道の駅」駅長会

この写真コンテストは、株式会社CPC様からの寄附金（企業版ふるさと納税）で実施しています。